

太陽觀測報告 1923年1月 三澤勝衛

日	黒點群	黒點數	大黒點數	白紋	備考
1	3	7+5+1=13	4+0+1=5	0	黒點群は先月末の續きのものなり。
2	3	7+1+1=9	3+0+0=3	1	白紋は西側にて第一群の圓に有・大規模
3	2	4+1=5	3+0=3	2	白紋は何れも西側にて1は第一の圓に1は本日消失せる第二黒點群の跡にあり(山岡克巳)
4	2	2+1=3	2+0=2	2	白紋は3日のものの續き・先月29日中央子午線通過の第1の群は本日西端に沒せんさず(山岡)
5	0	0	0	2	何れも西側にて先者は濃厚後者は先月31日中央子午線通過のものの途中にて消失せる跡なるが如し大規模なれども淡し
6	0	0	0	2	何れも西側にあり兩者は殆ど連絡す
7	0	0	0	1	白紋は西端に
8	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	
13	0	0	0	0	
14	0	0	0	1	白紋は東側にあり大規模
15	—	—	—	—	雪
16	0	0	0	0	
17	0	0	0	0	
18	0	0	0	1	白紋は東の縁にあり
19	0	0	0	1	白紋は東側にあり大規模昨日の續き
20	0	0	0	1	白紋は東側にあり大規模昨日の續き
21	0	0	0	2	白紋何れも東側先者は淡く後者は新
22	0	0	0	1?	雲の爲め觀測不充分
23	—	—	—	—	雨氷
24	—	—	—	—	雪
25	—	—	—	—	雪
26	0	0	0	0	
27	0	0	0	0	
28	0	0	0	1	白紋は西側大規模なれども淡し
29	1	6	0	1	新黒點群西側に突發・白紋は更に其西方にあり甚大規模
30	1	4	1	1	白紋は黒點群の圓及び其西方にあり甚大規模
31	1	1	1	1	白紋は黒點の圓にあり(山岡)

普通ならば本月の初め相前後して西端に沒せし黒點群は中旬頃再び東方に出現すべき筈なるに、中旬に至り大規模の白紋のみ出現せることは上記の如し、爲に全月を通じて黒點の少なきこゝ余が觀測以來(1921年6月)初めてなり。月末に至り西側に突發のものば或はその一部の復活なるが如し。

三月の天象

太陽 三月中の太陽の赤緯は二十二時四十分から〇時三十五分迄變化し、赤緯は南七度五十一分から北三度五十二分迄變化する。六日午後十一時二十五分啓蟄節。二十二日午前〇時二十九分及魚宮より白羊宮に入る、春分。十七日午前九時二十四分金環蝕（我國にて見えず）

月 三日午後〇時二十四分朔月。十日午前三時三十一分下弦月。十七日午後九時五十一分新月。二十六日午前一時四十二分上弦月。四日午後七時四十八分近地點通過、二十日午前五時二十四分遠地點通過。

水星 曉天、十五日に赤緯二十二時二十五分、赤緯南十二度十分、水瓶座シケマ星の附近を進行中。十二日光度〇・〇等、月半に於ける視直徑五・四六秒、地球よりの距離一億七千三百萬軒、五日午後十時遠日點通過。十六日午前五時十四分と合（月の南三度四十九分にあり）二十日午前二時四十一分天王星と合（天王星の南一度四十分にあり）二十六日午前七時南方最大、日心黃緯

金星 曉天、十五日の赤緯二十時五十一分、赤緯南十六度五十六分、水瓶座と山羊座との境界を順行中。十二日光度負三・七度、月半に於ける視直徑一七・二六秒、地球よりの距離一億〇九百萬軒。九日山羊座ロ一星と合（一月號二六頁の金星の項にある三月九日蝎座ロ一星と合あるは山羊座ロ一星の誤）十四日午前一時三十八分と合（月の南二度四十七分

にあり）二十五日午後六時降交點通過。

火星 宵天、十五日の赤緯二時二十二分、赤緯北十四度三十四分、牡羊座を進行中。八日に於ける光度一・五等。月半の地球よりの距離三億〇七百萬軒。二十一日午後四時四十七分と合（月の北四度四十四分にあり）

木星 十五日の赤緯十五時七分、赤緯南十六度十一分、天秤座を逆行中。十二日光度負一・八等。月半の極直徑三八・四二秒、地球よりの距離七億一千六百萬軒。六日午前十時留。七日午後十一時五十五分と合（月の南三度二十分にあり）

土星 十五日の赤緯十三時十二分、赤緯南四度四十三分、乙女座を逆行中。光度〇・六等、外輪の長軸四五秒、短軸八・三一秒。月半に於ける地球よりの距離十三億〇四百萬軒。六日午前〇時四十三分と合（月の北一度十分分、にあり）

天王星 十三日の赤緯二十三時二分、赤緯六度五十八分、水瓶座三十二番星の東方を順行中。地球よりの距離三十一億四千八百萬軒、五日午後一時太陽と合（曉天の星となる）十五日午後九時南方最大、日心黃緯。十六日午後十一時二十四分と合（月の南方一度二十三分にあり）

海王星 十三日の赤緯九時十四分、赤緯北十六度十五分、蟹座バイ星の東北を逆行中。地球よりの距離四十三億七千三百萬軒、一日午後八時三十二分と合（月の北三度十六分にあり）二十九日午前六時四分と合（月の北三度十八分にあり）

流星群 概して流星少けれど中旬は幾分多

かるべし。

赤緯	附近の星
一日一四時四分	獅子座α星
二時四分	北冕座α星
上旬 七時四分	北冕座α星
五日前後 六時四分	北冕座α星
六日前後 二時四分	北冕座α星
下旬 二時四分	北冕座α星
荷獅子座、小獅子座、龍座等にも輻射點あり	
日食 三月十七日の金環食、食の中心線は南米の南端より南大西洋を横切り亞米利加南部を経て、マダガスカル島の東方に至る線上、食を見得べき區域は、南米南阿及太平洋南部のみである。	
三月三日の月食 三分七厘六毛の部分食にして之れを見得べき區域は、亞細亞洲西部、歐洲、亞米利加、太平洋、南米、北米（其北西部を除く）太平洋東部である。	
アルゴール極小時間概算	
三月一日 午後八時二十三分	
同 二十一日 午後九時五十七分	

正誤其他

編輯者病中なりし爲天界二月號に多少の誤植ありしを遺憾とする。左に訂正す。
口繪の下説明にローエル二四時折屈望遠鏡さあるは屈折の誤り。
三六頁上段の（二）の項に六八七年とあるは六八七日の誤植。
四〇頁下段終りより二行目のかゝる異狀は異常の誤植。